

## 2019年度 事業別行政評価シート

部名	子ども生活部	主管課名	児童青少年課
----	--------	------	--------

歳出目名	児童青少年費	特定事業名	子どもセンター「つるっこ」運営事業	事業類型	2.施設運営型
------	--------	-------	-------------------	------	---------

### 1.事業概要

事業目的 子どもセンターつるっこは、町田市子どもセンターの2号館として2005年に開館しました。「遊びの拠点」「成長・発達の拠点」「子育て支援の拠点」等、子どもとその保護者の「地域拠点」としての役割を担っています。

基本情報	根拠法令等	児童福祉法、町田市子どもセンター条例、町田市子どもセンター条例施行規則						
		2017年度	2018年度	2019年度	施設の名称	子どもセンターつるっこ		
	利用者数	70,141	66,665	61,857	建設年月日	2005年2月1日		
	開館日数	291	292	269		2017年度	2018年度	2019年度
					有形固定資産減価償却率	29.0%	31.1%	33.2%

### 2.2018年度末の総括

#### ①「成果および財務の分析」を踏まえた事業の課題

- ◆鶴川地域の子どもの人口減少に加え、放課後の子どもの居場所および地域の子育て支援事業の充実により、今後来館者数の減少が見込まれます。
- ◆2021年度までに、未実施校の新たな「まちとも」へのスムーズな移行に向け、さらに連携を深めていく必要があります。
- ◆地域団体へのアンケート結果を踏まえ、それぞれに沿った具体的な連携方法を検討し、団体の活動を支援する必要があります。
- ◆館内及び敷地内照明の8割が水銀灯のため、消費電力増加につながっています。
- ◆安全な施設であることや、利用環境の改善に向けて、老朽化した施設を計画的に改修していく必要があります。

#### ②課題解決・目標達成に向けた今後の取り組み

- ◆来館者や事業参加者の満足につながるよう、利用者の声を反映させた居場所としての環境及び実施事業の充実を図ります。
- ◆「まちとも」実施校を定期的に訪問し、情報提供と相談対応による運営サポートと、新たな「まちとも」へのスムーズな移行につながる支援をしていきます。
- ◆それぞれの地域団体のニーズに応じた連携事業を進めることで、地域団体の活動を支援していきます。
- ◆消費電力削減と環境への配慮のため、水銀灯の照明をLED照明に更新していきます。
- ◆引き続き、来館者にとって安全かつ快適な施設となるよう、計画的に修繕を進めます。

### 3.事業の成果

成果指標名	単位	区分	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度目標	目標(達成時期)	成果指標の定義
利用者数	人	実績	70,141	66,665	61,857	-	-	子どもセンターつるっこを利用した人数(年間総計・延べ人数)
地域と連携した事業数	事業	実績	25	18	20	-	-	地域協力者や団体、事業所や商店等と連携して実施した事業数

成果の説明 ◆利用者数は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う臨時休館のため減少しましたが、2月までを比較すると1,800人増加(+3%)しました。  
 ◆施設をより充実させるため、スタジアムの壁面修繕の際に、利用者の要望が多かった、ダンスや演劇の練習で使用できる鏡を設置しました。  
 ◆新たな「まちとも」の運営をサポートするため、既に実施している2校、2020年度から移行する2校を中心に、定期的に訪問し支援を行いました。  
 ◆地域団体の活動を支援するため、青少年健全育成地区委員会等、3団体に対して、活動の相談や施設貸出等のサービスを行いました。  
 ◆消費電力削減のため、プレイルーム及び屋外の照明機器をLEDに更新しました。

### 4.財務情報

#### ①行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	2017年度	2018年度	2019年度	差額	勘定科目	2017年度	2018年度	2019年度	差額
		A	B	B-A			A	B	B-A
人件費	41,032	37,899	36,399	△ 1,500	地方税	0	0	0	0
物件費	13,329	14,234	12,919	△ 1,315	国庫支出金	0	171	0	△ 171
うち委託料	7,768	8,921	7,920	△ 1,001	都支支出金	0	171	107	△ 64
維持補修費	11,228	2,836	3,200	364	分担金及負担金	0	0	0	0
扶助費	0	0	0	0	使用料及手数料	0	0	0	0
補助費等	396	364	175	△ 189	その他	313	328	249	△ 79
減価償却費	8,032	8,032	8,032	0	行政収入 小計(a)	313	670	356	△ 314
不納欠損引当金繰入額	0	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	△ 80,791	△ 64,734	△ 62,317	2,417
賞与・退職手当引当金繰入額	7,087	2,039	1,948	△ 91	金融収支差額(d)	△ 1,690	△ 1,469	△ 1,244	225
行政費用 小計(b)	81,104	65,404	62,673	△ 2,731	通常収支差額(c)+(d)=(e)	△ 82,481	△ 66,203	△ 63,561	2,642
特別費用(g)	0	0	0	0	特別収入 小計(f)	0	400	657	257
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	400	657	257	当期収支差額(e)+(h)	△ 82,481	△ 65,803	△ 62,904	2,899

#### ②行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	物件費	勘定科目	都支支出金
決算額の主な内訳	清掃業務委託 3,472千円 光熱水費(電気料金) 1,402千円 管理指導業務委託 977千円など	決算額の主な内訳	児童福祉施設等設備災害復旧費補助金 107千円
主な増減理由	委託料が不動産鑑定評価委託(2018年度)の完了により1,001千円減少。電気料金が、照明器具更新及び電気需給契約見直し等により440千円減少。	主な増減理由	2018年度は駐車場万年塀修繕に伴う児童館環境整備事業補助金171千円であったが、2019年度は剪定・除草に伴う児童福祉施設等設備災害復旧費補助金107千円のため、64千円減少。

勘定科目	維持補修費	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	スタジアムゆめ壁面修繕 1,528千円 ふらつぷ、自動販売機コーナー、駐車場外灯(1基)修繕 979千円	決算額の主な内訳	講習会等参加費 209千円 光熱水費使用料 26千円 実習生受入謝礼 11千円など
主な増減理由	維持補修費がスタジアムゆめ壁面修繕等により364千円増加。	主な増減理由	講習会等参加費が新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う主催事業の中止により74千円減少。

#### ③単位あたりコスト分析

※単位あたりコストは、各年度の「行政費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。

指標名	単位	年度	実績	単位あたりコスト	対前年度	単位あたりコストの増減理由
利用者1人あたりコスト	人	2019	61,857	1,013	32	新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が4,808人減少(△7%)したため、利用者1人あたりコストが32円増加(+3%)しました。
		2018	66,665	981	△ 175	
		2017	70,141	1,156		
開館1日あたりコスト	日	2019	269	232,985	8,999	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う休館24日(△9%)のため、開館1日あたりコストが8,999円増加(+4%)しました。
		2018	292	223,986	△ 54,722	
		2017	291	278,708		
延床面積1㎡あたりコスト	㎡	2019	1,601	39,146	△ 1,706	物件費等の減少により、延床面積1㎡あたりコストが1,706円減少(△5%)しました。
		2018	1,601	40,852	△ 9,806	
		2017	1,601	50,658		

単位あたりコストについては、2020年2月以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、施設の休館等を実施した期間のコスト(人件費等)が含まれています。